これまでなかった！
リン酸14.5%+カルシウム14.5%＋微量要素入り
発泡・水溶性有機酸カルシウム

calvita-P　葉面散布用

カルビタP

肥料登録番号　生第83824号

Net 650g

特 長

●最大の特長は、水溶性カルシウムとリン酸がそれぞれ同量（14.5%）入っていることです。カルシウムとリン酸は、お互い結合して溶けにくくなるため一緒に使用することがこれまで不可能とされていましたが、それを可能にしたのが本材です。

●チッソ、カリ、苦土、マンガン、ホウ素、鉄、銅、亜鉛、モリブデンもバランスよく配合されている究極のカルシウム肥料です。

●りんごのビターピット・油上がり防止、着色・糖度アップ、貯蔵性の向上に。また、葉採らずりんご及び葉摘み葉数を減らす葉摘み省力りんごに。

●ぶどうの花振い防止、節間伸長の抑制、裂果防止に。着色・糖度アップ、貯蔵性の向上に。

●植物体内に存在するクエン酸を原料に使用しているので吸収がよく、幼果期、真夏の日中にまいても薬害はありません。また、果面を汚すこともありません。

海藻エキス**ケルパック66**と混用散布するとさらに効果が高まります。

RIC
www.kelpak.co.jp
SINCE 1979

ロイヤル インダストリーズ株式会社
〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-15-19
TEL 03(3489)1408　FAX 03(3489)9308

●用途

りんご	軟化防止、ビターピット・油上がり防止、着色向上・糖度アップ、貯蔵性向上。
ぶどう	花振い防止、裂果防止、着色向上、糖度アップ、貯蔵性向上。

●成分　（下表の成分はすべて水溶性です。）

保証成分	アンモニア性窒素	2.2%
	りん酸	14.5%
	加里	1.9%
	苦土	1.1%
	マンガン	0.27%
	ほう素	0.31%

含有成分	カルシウム	14.5%
	鉄	0.09%
	銅	0.01%
	亜鉛	0.05%
	モリブデン	0.03%

●使用方法　（参考：500ℓに１袋入れた時（770倍）のPHは5.9）

希釈液の作り方：100ℓの水に110～130ｇ加用。また、500～600ℓのタンクに1袋（650ｇ入り）投入。

作物	使用方法
りんご	前半は「カルビタ」又は「カルマグホウ素PK」、後半はリン酸成分の多い本材を使用します。リン酸が多いとりんごが軟化するという理由で敬遠されますが「カルビタP」の中にはカルシウムが多く含まれているため、心配はありません。 「カルビタ」又は本材散布時に「ケルパック66」を加用すると葉が内側に巻き込み、受光態勢が良くなるため、着色は良くなり糖度が増します。この「葉採らずりんご」に仕立てるには、落弁１ヶ月後から「ケルパック66」1000倍＋「カルビタ」1000倍混合液を３～４週あけて２回位散布します。後半は、「カルビタP」770倍（1袋/10ａ）＋「ケルパック66」2000倍混合液を３～４週あけて２回位散布します。
ぶどう	前半は、花振い防止のため６～８葉期と開花直前に「ケルパック66」1000倍＋「カルマグホウ素PK」1000倍混合液を散布します。 後半は着色、糖度アップのために「カルビタP」770倍＋「ケルパック66」1000倍混合液を収穫の45～30日前から２～３週あけて２回散布します。

●注意事項

- ボルドー液との混合散布、近接散布は薬害が出る恐れがあるので混用は避けて下さい。
- ボルドー液散布園に本材を散布する場合は、薬害回避のため炭酸カルシウム(石灰)を希釈液100ℓにつき、2にぎり位加用して下さい。
- 本材をトマトに使用すると茎、枝が硬くなり過ぎ触れただけで折れることがあります。従ってトマトには使用しないでください。それほど硬くなるということですからりんごの軟化防止に向いたリン酸カルシウムです。トマトにリン酸カルシウムを補給したい時はカルマグホウ素PKをご使用ください。
- 石灰硫黄合剤と混用すると有毒ガスが出る恐れがあるため混合しないでください。
- 薬液槽を満水状態にして本材を投入すると発泡して液が溢れることがあるため、水は7分目程度に張り、発泡沈静後に水を足して下さい。農薬を混用する場合は本材の発泡沈静後に加用してください。

●包装形態　650g入り×20袋／ケース

2023.08